デザイン学を学ぶ若者たちへ、産業界から寄せられる期待の声。

社会をデザインするため
京都大学デザイン学大学院連携プログラム

http://www.design.kyoto-u.ac.jp/
諸学の叡智を融合し、社会と共に歩む。

京都大学デザイン学大学院連携プログラムは、5年一貫で「デザイン学」を学ぶ、わが国初の学び方カルチャーム。自らの専門性を深めるとともに、異分野の専門家や他地域の人々と協働しながら、現実社会の多様な問題に取り組み、新たな社会の仕組みづくりに努めます。「京都大学デザインスクール」は、このプログラムを中心に構え、社会に開かれたさまざまな活動の集積体です。

Kyoto University Design School

企業・行政

とのネットワーク

日本製紙製紙院

松山情報通信社

パワフルな媒介

情報技術の文脈

京都市社会人学研究

独立行政法人

環境対策支援制度

企業

大学

社会

世界の大学・
デザインスクール

とのネットワーク

スタンフォード大学（米）

ハーバード大学（米）

オックスフォード大学（英）

ブリティッシュ・カレッジ（英）

ユーレーザ・スクール（仏）

東京大学（日）

ナサニエル大学（仏）

ロリアルール大学（英）

ウラル工業大学（仏）

日本のデザインエクスチェンジ

世界の大学のネットワークを構築し、

学生のためのネットワークを構築し、

大学間の協力・ネットワークを強化する。

京都大学デザイン学

大学院連携プログラム

5年一貫の

博士課程プログラム

京都グループ

核となる6つの専門領域

経営学

心理学

情報学

建築学

芸術学

（音楽）

機械工学

社会における

実問題の解決

京都大学が取り組む「デザイン学」とは…

現代社会における新たな問題を発見し、

单一の専門領域だけでは解決できない課題に、

新しい視点を導入し、京都大学の多様な

学びを活かして、社会の課題解決に

取り組みます。新たな視点を

導入し、社会の課題解決に

取り組みます。新たな視点を

"十字型人材（PLUS-SHAPED PEOPLE）"の育成をめざして…

本プログラムは、单一の専門領域の中での研究を前提とするスペシャリストである「専門人材」、実務力や実務の力に優れたジェネラリストである「柔軟人材」を生み出し、これらの専門領域を超えて「十字型人材」の育成をめざ

しています。それは、まさに令和のリーダーとして求められる人材です。
専門領域を超え、
社会に飛び込んで学ぶ5年間。

まず1,2年次に「デザイン学」の考え方と手法を学び、創造力の育成を図るとともに、清流（FL/BFL）に参加し、実社会との直接的な問題解決力を養います。3年次から5年次に至って、産学官連携で問題解決を目的としたプロダクト・デザインのテーマを、専門家チームのマネージャーとして、また同時に専門領域の研究者として参加します。本プログラムは、異なる領域の教員が合同担当する「学習型講座」や、複数教員からサポートをうける「複数アドバイザ制度」を導入するほか、課題の制作を活用した実践型学習を模索し、柔軟な視野を育むための取り組みを行っています。
デザイン学のプロをめざして。スタートアップとしての「FBL/PBL」。平成25年度前期に実施した7つのテーマ

FBL/PBL 問題解決型学習

平成25年度前期に実施した7つのテーマ

デザイン学のプロをめざして。スタートアップとしての「FBL/PBL」。

本プログラムの特色は、実践的・協働的であること。数々の課題から学んだ問題解決型学習（FBL/PBL）では、異なる専門領域の学生がチームを作り、ユニット独自の医療現場、医療や福祉、デザインにまつわる課題解決を試みる。これにより、新たな視点をもって学び、実践的思考力を持つ学生を育成する試みです。

1. クラウドソーシングにおける医療デザイン
2. ユニット・ディスパシオンにおける医療デザイン
3. 病院のデザイン
4. ロボットと社会のデザイン
5. 病院システムズ・アプローチにおける医療ドクター
6. 人間の関与性・変化を考慮するウェブデザイン
7. 傷災と社会のデザイン

病院のデザイン

本プログラムの特色は、実践的・協働的であること。数々の課題から学んだ問題解決型学習（FBL/PBL）では、異なる専門領域の学生がチームを作り、ユニット独自の医療現場、医療や福祉、デザインにまつわる課題解決を試みる。これにより、新たな視点をもって学び、実践的思考力を持つ学生を育成する試みです。

1. クラウドソーシングにおける医療デザイン
2. ユニット・ディスパシオンにおける医療デザイン
3. 病院のデザイン
4. ロボットと社会のデザイン
5. 病院システムズ・アプローチにおける医療ドクター
6. 人間の関与性・変化を考慮するウェブデザイン
7. 傷災と社会のデザイン

ロボットと社会のデザイン

本プログラムの特色は、実践的・協働的であること。数々の課題から学んだ問題解決型学習（FBL/PBL）では、異なる専門領域の学生がチームを作り、ユニット独自の医療現場、医療や福祉、デザインにまつわる課題解決を試みる。これにより、新たな視点をもって学び、実践的思考力を持つ学生を育成する試みです。

1. クラウドソーシングにおける医療デザイン
2. ユニット・ディスパシオンにおける医療デザイン
3. 病院のデザイン
4. ロボットと社会のデザイン
5. 病院システムズ・アプローチにおける医療ドクター
6. 人間の関与性・変化を考慮するウェブデザイン
7. 傷災と社会のデザイン

病院のデザイン

本プログラムの特色は、実践的・協働的であること。数々の課題から学んだ問題解決型学習（FBL/PBL）では、異なる専門領域の学生がチームを作り、ユニット独自の医療現場、医療や福祉、デザインにまつわる課題解決を試みる。これにより、新たな視点をもって学び、実践的思考力を持つ学生を育成する試みです。

1. クラウドソーシングにおける医療デザイン
2. ユニット・ディスパシオンにおける医療デザイン
3. 病院のデザイン
4. ロボットと社会のデザイン
5. 病院システムズ・アプローチにおける医療ドクター
6. 人間の関与性・変化を考慮するウェブデザイン
7. 傷災と社会のデザイン

ロボットと社会のデザイン

本プログラムの特色は、実践的・協働的であること。数々の課題から学んだ問題解決型学習（FBL/PBL）では、異なる専門領域の学生がチームを作り、ユニット独自の医療現場、医療や福祉、デザインにまつわる課題解決を試みる。これにより、新たな視点をもって学び、実践的思考力を持つ学生を育成する試みです。

1. クラウドソーシングにおける医療デザイン
2. ユニット・ディスパシオンにおける医療デザイン
3. 病院のデザイン
4. ロボットと社会のデザイン
5. 病院システムズ・アプローチにおける医療ドクター
6. 人間の関与性・変化を考慮するウェブデザイン
7. 傷災と社会のデザイン

病院のデザイン

本プログラムの特色は、実践的・協働的であること。数々の課題から学んだ問題解決型学習（FBL/PBL）では、異なる専門領域の学生がチームを作り、ユニット独自の医療現場、医療や福祉、デザインにまつわる課題解決を試みる。これにより、新たな視点をもって学び、実践的思考力を持つ学生を育成する試みです。

1. クラウドソーシングにおける医療デザイン
2. ユニット・ディスパシオンにおける医療デザイン
3. 病院のデザイン
4. ロボットと社会のデザイン
5. 病院システムズ・アプローチにおける医療ドクター
6. 人間の関与性・変化を考慮するウェブデザイン
7. 傷災と社会のデザイン

ロボットと社会のデザイン

本プログラムの特色は、実践的・協働的であること。数々の課題から学んだ問題解決型学習（FBL/PBL）では、異なる専門領域の学生がチームを作り、ユニット独自の医療現場、医療や福祉、デザインにまつわる課題解決を試みる。これにより、新たな視点をもって学び、実践的思考力を持つ学生を育成する試みです。

1. クラウドソーシングにおける医療デザイン
2. ユニット・ディスパシオンにおける医療デザイン
3. 病院のデザイン
4. ロボットと社会のデザイン
5. 病院システムズ・アプローチにおける医療ドクター
6. 人間の関与性・変化を考慮するウェブデザイン
7. 傷災と社会のデザイン

病院のデザイン

本プログラムの特色は、実践的・協働的であること。数々の課題から学んだ問題解決型学習（FBL/PBL）では、異なる専門領域の学生がチームを作り、ユニット独自の医療現場、医療や福祉、デザインにまつわる課題解決を試みる。これにより、新たな視点をもって学び、実践的思考力を持つ学生を育成する試みです。

1. クラウドソーシングにおける医療デザイン
2. ユニット・ディスパシオンにおける医療デザイン
3. 病院のデザイン
4. ロボットと社会のデザイン
5. 病院システムズ・アプローチにおける医療ドクター
6. 人間の関与性・変化を考慮するウェブデザイン
7. 傷災と社会のデザイン
デザイン学を学ぶ若者たちへ、産業界から寄せられる期待の声。

日本のデザイン教育は、産業界からの期待を受けて行われている。企業や団体の設計部門が求めているのは、実践的なデザインスキルとクリエイティブ思考の組み合わせ。デザイン学を学ぶ学生たちは、この期待に応えるために学ぶべきものがある。

京都大学デザイン学大学院連携プログラム

【デザイン学科】

17科目

・デザイン学概論
・デザインの理論
・デザインの実践
・デザインの実践
・デザインの実践
・デザインの実践
・デザインの実践
・デザインの実践

【建築学領域】

7科目

・建築学概論
・建築学理論
・建築学実践
・建築学実践
・建築学実践
・建築学実践
・建築学実践

【建築学領域】

8科目

・建築学概論
・建築学理論
・建築学実践
・建築学実践
・建築学実践
・建築学実践
・建築学実践
・建築学実践

【建築学領域】

6科目

・建築学概論
・建築学理論
・建築学実践
・建築学実践
・建築学実践
・建築学実践

【建築学領域】

9科目

・建築学概論
・建築学理論
・建築学実践
・建築学実践
・建築学実践
・建築学実践
・建築学実践
・建築学実践

http://www.design.kyoto-u.ac.jp/